



### シーズンを振り返って

ユウパリコザクラの会代表 藤井純一

二年ぶりの林道開通のもと、六月十六日に予定通りヒュッテ開きをすることができました。これまでどんなに登山者の利用を期待したことでしょうか。

開けてみると例年の半分。これは天候のせいだろうか。シーズン中に太陽を見た日や、暑いと思っただ日が何日あっただろうか。それに追い打ちをかけるように、台風の影響、厚真の地震。地球はどうなってしまうのだろうか。

先の地震で北海道は全停電を経験しました。文明に依存しきった生活をしていて、インフラがダメになると、大パニックに陥る。地震はヒュッテに滞在中にみまわれましたが、被害はどんぶり三個割れただけ。トイレも水も電気も普段通り。里では冷蔵庫のアイスクリームが融けた・・・なんて大騒ぎ。「のど元過ぎれば熱さを忘れる」。決して忘れてはならない出来事です。

脆弱な林道も、何とかこの災難に耐えましたが、状態はかなり悪く、凹凸の道に雨の日は水がたまり、車の走行の妨げになっています。なかなか退かない水たまりを避けるため、通行車が誤って谷

### 第107号

2018.10.15 発行  
(平成30年)

ユウパリコザクラの会  
事務局

〒069-0835

江別市文京台南町 53-13

FAX 011-387-1385

携帯 080-6090-1839

E-mail

info@yuparikozakura.org

Website

http://yuparikozakura.org

ようこそ花の夕張岳へ

<https://www.facebook.com/yuparikozakura/>

に落ちなければと思っています。

さて、高齢化が止まらない状況の当会も、若い力が芽生えてきました。子供たちのお母さんが、子供とともに夕張岳の自然保護を考え、尽力したいという要望が出てきました。実現するにはどのような事をすれば良いか、皆で考えていかなければならないでしょう。

最後にヒュッテ建設の進捗ですが、部分的にいろいろ施工がなされています。しかし、全体的に見るとまだまだ完成には程遠い状況です。年次計画をたてて、皆さんにわかるようにして行きたいと思っております。ご協力をお願いします。



ヒュッテと炊事棟

「暖炉」と内外装等を中心に工事を進めていく予定となっています。

注力してきた「五右衛門風呂」も概ね完成に近づいてきました。



### 三〇周年記念講演会中止のお詫び

九月十五日に開催する予定でありました、「自然と文化を学ぶ地域次世代交流事業」。その一環として、当会の三〇周年記念イベント（自然保護講演会）を開催する準備をしてまいりました。

しかし、九月六日に未明に発生しました北海道胆振東部地震の余震が心配される状況下、さらなる事態悪化を考慮した結果、止む無く中止とさせていただきます。誠に申し訳ありません。

楽しみにされていた皆様には、多大なご迷惑をおかけしますこと、心より深くお詫び申し上げます。未曾有のことでもあり、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

今回は、お二人の講師をお招きし、自然保護をメインの題材として、夕張岳との関わりを中心に話を頂くことになっていました。

過去に日高山脈と夕張山地を国立公園に指定する要望書を、環境省や北海道に提出した経緯等について、講師のご専門分野からの掘り下げでの講演は、市民の方々や参加会員の皆様には、きっと有益な情報であったと思われれます。

折角ご準備いただいておりますので、是非とも同じような機会を作り、再度仕切り直しをさせていただきます。お待ちしております。



準備したリーフレット  
この他、後援手配や祝辞など準備はしていましたが、自然には勝てず。またの機会には、ぜひご参加ください。

## 平成30年度のヒュッテ運営始まる 「30年度ヒュッテ開き式典」

6月17日に平成30年度の夕張岳ヒュッテの小屋開き式典が行われました。式典には夕張市教育委員会、北海道庁、夕張市消防、空知森林管理署から来賓としておこしいただき、ご挨拶をいただきました。昨年度は、林道がゲートから閉鎖されていたため、ヒュッテ開き式典については行いませんでしたので、2年ぶりの開催となりました。

5月にお亡くなりになった、ヒュッテ管理運営委員会の河村元事務局長のご家族より、寄付金と河村氏が制作した版画を贈呈いただきました。版画はヒュッテの一番目立つ場所に設置しました。

翌日は官民合同パトロールの日。空知振興局から3名、栗山警察署から6名、道1名、他2名、コザクラの会6名が参加しました。石原平のシラネアオイが見ごろで綺麗でした。貴重種の調査では、シラの食痕のほかにもウサギの食痕も見られたようです。また、高山植物全体においては、温暖化の影響が否めず、開花時期や訪花昆虫の行動にも、影響が出ている可能性があるという事ですので、今後とも継続的な観察活動が大事であると感じました。



夕張市今教育長のご挨拶



石原平のシラネアオイの群落

## アポイ岳ファンクラブ交流学習登山会

6月23日・24日でアポイ岳ファンクラブと当会の交流学習登山会が行われました。今年はユウパリコザクラの会が幹事役になります。アポイ岳ファンクラブからは田中会長を含め4名の方々にご参加いただきました。23日ヒュッテでの学習会で、会の運営に関する課題、年度レベルでの実行計画案などを紹介しながら会は進み、懇親会も楽しく過ごせました。翌日の朝には雨が降っていましたが、間もなくやんで予定通りスタートしました。終始ほとんど雨にはあたらずに行動ができました。視界はなかったものの、たくさんの方々の高山植物を観察できました。水永さんはお若いながら植物の分野で博士号を取得しているほど詳しく、感心するばかりでした。



高山植物にはとても詳しいアポイファンクラブのメンバー  
出発前にヒュッテ前で記念撮影

後日、「夕張岳に咲いていた花たち」(田中正人 水永優紀 調査) という花の調査一覧を頂きました。



恒例の流しソーメンでクールダウン

ウゲ、ミヤマスマミレ、ミヤマダイコンソウ、ミヤマハンショウヅル、ミヤマハンノキ、ミヤマヤナギ、ムシトリスミレ、ムラサキヤシオツツジ、ヤマガラシ、ユウパリコザクラ、ユウバリソウ、ワタスゲ





## 第2回自然と文化を学ぶ

### 地域次世代間交流事業

7月21日～22日にて、参加者＋スタッフ総勢38名で、「第2回自然と文化を学ぶ地域次世代間交流事業」行われました。

土曜日の天気は曇りでしたが気温も上がり、子供たちは元気に川遊びやコースター作りに参加しました。夕食は定番のカレーライス。3升炊きの大きなガス釜でご飯を炊いて、子供用に作ったの甘口カレーをいただきます。夕食後の夜の部は、「夕張岳と石」「宇宙のふしぎ」の2本立てのスライド上映があり、大人も方々も聞き入っていました。この日は、TV撮影班や他団体の宿泊と重なり、新ヒュッテが完成してから最大の宿泊者で賑やかでした。

翌朝は弱い霧雨の状況でしたが、予報では午後から回復するとの情報でしたので、3班に分かれて予定通り出発。途中で引き返したメンバーもいましたが、多くの参加者が頂上まで上がり、無事登山を終えました。子供たちは、登山を終えても元気いっぱい、飽きずに川遊びを楽しんでいました。



ヒュッテ前でオリエンテーション



河原で実地学習（石のお話その1）



登山学習の前の体操



夜の部勉強会（石のお話その2）



コースター作りにチャレンジ



登山学習会（実地学習）



夜の部勉強会（宇宙の不思議）



夕食は屋外でカレーライス

## 今年一番の出来事 谷口 誇吾郎（中3）

私が「自然と文化を学ぶ地域次世代交流」に参加したきっかけは、小学校での「夕張岳登山」をする事になったからです。当日は清水沢に集まり、そこからヒュッテに向いました。夕張岳の駐車場には全面開通していない時（途中までしか行けなかったとき）にしか行ったことがなく、それより長くて少し不安になりました。ヒュッテは思っていたよりも広く、いろいろなところに工夫が施されていました。その夜の石の先生の話では、蛇紋岩のことを詳しく教えていただきました。私は登山体験をしたことがなかったのですが、登りはじめには変なところに力が入ってしまい、冷水の沢まででも疲れしました。望岳台では天気が悪くなかったので、少ししか見えなくて残念でした。山頂の手前の鳥居のあるところまで来たとき、「やっとついた」と思ってしまいました。山頂はまだ上だとわかって全身の力が抜けそうになりました。山頂も雲があつて何も見えず残念でしたが、登頂した達成感は十分感じました。下山の時に強い風が吹いて、吹き通しの雲が一瞬でなくなり、素晴らしい景色を見ることができたのはうれしかったです。登るときより下るときに、視界が広く感じるという発見もしました。今度は友達と登りたいです。



谷口 誇吾郎君（中央）

なり・素晴らしい景色を見ることができたのはうれしかったです。登るときより下るときに、視界が広く感じるという発見もしました。今度は友達と登りたいです。

## 平成 30 年度スケジュール (予定含む)

月	日	各行事内容
10	6 (土) ~ 8 (祝)	ヒュッテ冬囲い①
	13 (土) ~ 14 (日)	ヒュッテ冬囲い②
	14 (日)	空知自然保護団体交流会 (市民イベント)
11	17 (土) ~ 18 (日)	ヒュッテ巡視パトロール
	24 (土)	「市民フォーラム」高山植物保護ネット主催
	30 (金)	30 周年記念誌初校 (予定)
12	29 (土) ~ 30 (日)	ヒュッテ状況調査 (予定)
1	18 (金)	30 周年記念誌校正完了 (予定)
	26 (土) ~ 27 (日)	ヒュッテ屋根雪下ろし (予定)
2	16 (土) ~ 17 (日)	ヒュッテ状況調査 (予定)
3	20 (水)	30 周年記念誌印刷納品 (予定)
	23 (土) ~ 24 (日)	春山パトロール (予定)

・30 周年記念誌編集委員会は随時 (1 回 / 月) 札幌市 L プラザで行う。  
 ・日程予定行事：日程調整後、別途お知らせ予定。

## NHK 「さわやか自然百景」 ロケ

■6月の小屋開き後と7月の下旬の延べ8日間ほど、NHKの番組「さわやか自然百景」のロケ隊が、夕張岳ヒュッテを基地に取材をされました。番組はタイトル名「北海道 夕張岳」として総合放送とBSプレミアムで9月2日全国放送されました。映像はドローンを使用した、とても気持ちの良い空撮などがおりこまれ、見ごたえのある内容になっています。見逃してしまった方は「NHK オンデマンド」で¥108で購入できます。購入期限：2019年9月13日  
 詳しくは <https://www.nhk-ondemand.jp/>

## 平成 30 年度夕張岳登山者状況

■今年度の入山者数カウンター調べ  
 ・冷水コース 1485 名 馬の背コース約 355 名  
 計 1840 名 昨年との 5 倍強の登山者がありました。



## コザクラの会創立 30 周年記念誌進捗

30 周年記念誌制作委員会では、来年度に当会が創立 30 周年を迎えるにあたり、記念誌の制作を行っています。現状の進捗としては記事が集まり、製本にする為の校正に取り掛かっています。コンセプトは「夕張岳のバイブル」。A5 版約 200 ページ弱の内容となる予定です。



「夕張岳 大いなる自然 ～その魅力を訪ねて～」 (予定内容)

- ・夕張岳のおいたちと蛇紋岩メランジュ (中川充先生)
- ・夕張の森 (鮫島淳一郎先生) ・夕張の植物 (堀江健二先生)
- ・夕張岳の高山植生 (佐藤謙先生) ・夕張岳の鳥類 (富川徹先生)
- ・夕張岳高山帯の昆虫 (福本昭男先生)
- ・半世紀前の鳥瞰図から振り返る炭都夕張 (コザクラの会)
- ・夕張岳登山情報 (コザクラの会) ・ヒュッテについて (コザクラの会)
- ・夕張岳に咲く花々 (コザクラの会) 他

## 夕張市立ゆうばり小学校 5 年生 宿泊学習登山会

8月29日から30日に、夕張市立ゆうばり小学校の5年生の宿泊学習登山会が行われました。29日に朝集合して、ヒュッテに集合。冷水コースを「冷水の沢」までの約1時間の体験登山にチャレンジ。下山後ヒュッテ前で昼食後、宿泊先の合宿の宿ひまわりに宿泊。翌日にユウパロ湖の湖面ツアーを行い、障がい者スポーツ体験を行い学校に戻るというスケジュールです。コザクラの会のサポートとしては、男子、女子6班に分かれた班に各2名のサポートと、ヒュッテ周りの自然案内等をお手伝いさせていただきました。当初は、山頂までの登山とヒュッテでの宿泊も計画していたようですが、いろいろな面でリスクがある為、今年度は上記の内容となったようです。しかしながら、ゆうばり小学校の教員やPTAの方々の、「地元の子供にもっと夕張岳を知ってもらいたい」という熱い思いが日の目を見ることになり、最初の一步が実現された形となりました。登山の方も全員が良く指示に従って行動が出来ていて、頑張る姿勢が見られたという事です。ヒュッテでのトイレのトラブルもなく、来年度へ向けて良い経験値の蓄積ができたと思っています。



大自然に触れるゆうばり小5年生たち

## 会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパリコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

### 【お仕事の例】

- ・監視パトロール (道委託 / 森林管理署協定)
- ・ヒュッテ管理人・維持管理 (夕張市委託)
- ・高山植物学芸員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



## 夕張岳ヒュッテの維持管理 と水等建設にご支援を！



現在、寄付金につきましては集計中ではありますが、今年度もたくさんの支援を頂きました。

ありがとうございます。仕掛中でありました五右衛門風呂も利用可能になり、暖炉の整備等に取り掛かる予定です。作業はボランティアが無給で行っていますが、資材や諸費用が不足しておりますので、今一度のご支援をよろしくお願いいたします。

名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会  
 ゆうちょ口座：02750-6-97634